特 集

電気火災の未然防止に!

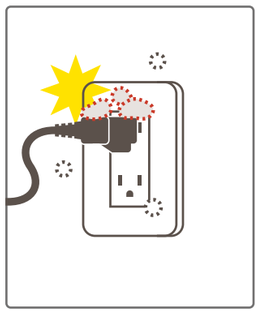
放電検出ユニット Spartect スパーテクト

近年、火災の件数は減少傾向にあります。しかしながら火災の要因を見ていくと「電気火災」の割合はむしろ増加傾向にあります。
電気火災を未然に防止する日本初の製品放電検出ユニット〔スパーテクト〕を特集！

電気火災要因の43%を占める火花放電

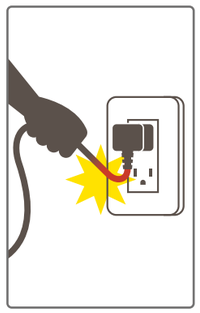
普段は何気なく使っている電気機器ですが、不適切な扱いや経年劣化などで電気火災を引き起こしかねません。

トラッキング

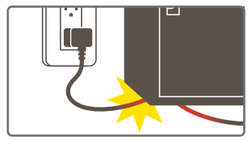


■ホコリが吸湿

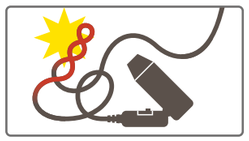
ケーブルの短絡（ショート）・断線



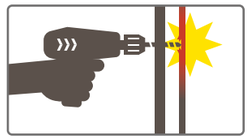
■ムリな引っぱり



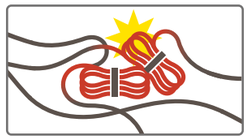
■家具・備品の下敷き



■電化製品のコードのねじれ



■施工時のケーブル損傷



■束ねた電源ケーブル類

上記のような状態の時に火花放電が発生し、その状態を放置すると電気火災を引き起こしかねません。

放電検出ユニット Spartect スパーテクト ってなに？

電気火災につながる火花放電の特有ノイズを当社独自技術により検出し、電気火災を未然に防止する日本初の製品です。
1台で家屋全体を監視し、壁の内側や屋根裏などの普段人目に触れない場所のケーブルの火花放電も検出できます。

一般財団法人日本消防設備安全センター「消防防災製品等推奨制度」の認証取得し、消防防災製品等の出火防止対策として推奨されました。

Spartect スパーテクト

消防防災 推奨 一般財団法人 日本消防設備安全センター

国宝 善光寺（長野県）を電気火災から守る

設置：放電検出ユニット3台+感震ブレーカー3台

本堂（国宝）、山門（重要文化財）、経蔵（重要文化財）へ電気を供給する分電盤3箇所に設置されています。

本堂（国宝） ［写真提供：善光寺］

ご担当者様から設置について

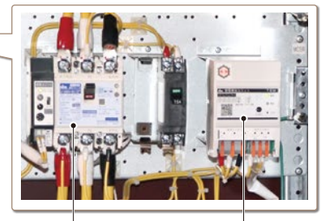
善光寺は創建以来、十数度もの大火に遭ってきました。現在の本堂は1707年の再建で、江戸時代中期を代表する仏教建築として1953年に国宝に指定されました。近年の歴史的建造物の火災などにより文化庁から防火対策のガイドラインが示され、地震時における電気火災防止対策として「感震ブレーカー」を順次設置しています。さらに、配線の経年劣化などによる電気火災を未然に防止する「放電検出ユニット」を知り設置することにしました。

設置内容

●スパーテクト（放電検出ユニット）：3台
壁内配線など目視が困難な箇所で発生した火花放電を検出し電気火災の未然防止に有効です。

●感震ブレーカー：3台
大地震による地震発生時及び停電後の復電（通電）時における電気火災の未然防止に有効です。

本堂（国宝）に設置されている分電盤



感震ブレーカー　放電検出ユニット（スパーテクト）

国宝 松本城天守（長野県）を電気火災から守る

設置：放電検出ユニット1台+感震ブレーカー1台

天守群へ電気を供給する分電盤に設置されています。

松本城（国宝）

松本城について

松本城天守群は、大天守・乾小天守・渡櫓・辰巳附櫓・月見櫓の五棟で形成されています。大天守と乾小天守を渡櫓によって連結し、辰巳附櫓と月見櫓が複合された連結複合式の天守です。
これらの天守群は、国宝に指定されており、現存する天守12城のうち五重六階の天守としては日本最古の天守です。

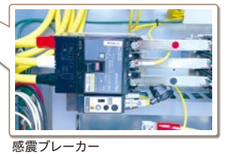
設置内容

●放電検出ユニット（スパーテクト）：1台
壁内配線など目視が困難な箇所で発生した火花放電を検出し電気火災の未然防止に有効です。

●感震ブレーカー：1台
大地震による地震発生時及び停電後の復電（通電）時における電気火災の未然防止に有効です。

天守入口付近に設置されている分電盤

放電検出ユニット（スパーテクト）



感震ブレーカー